

各 位

静岡大学大学院
総合科学技術研究科修士課程工学専攻

本専攻の学生募集要項については、次頁以降に掲載しておりますが、実際の出願にあたっては下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いいたします。学生募集要項は5月15日（月）以降に配布いたします。

記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は工学部・博士教務係で配付します。

配付開始は5月15日（月）です。

(2) 郵送にて請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「**工学専攻（修士課程）募集要項請求**」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して工学部・博士教務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学から募集要項を送るための封筒）

- ・規格 角形2号封筒（240mm×332mm）をご用意ください。
- ・宛先を記入する欄には、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ・250円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

※発送は5月15日（月）以降になります。

(3) 担当窓口及び請求先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5-1

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

電話（053）478-1010

令和5年5月12日

令和6年度 大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻
一般入試（令和5年10月期入学）、自己推薦型入試（令和5年10月期入学）
に出願予定の皆様へ

下記の教員は、令和5年4月入学生で指導学生がおりますので、出願の際は研究指導教員として志望することはできません。

※助教が担当する指導学生数は、すべての選抜試験を含めて1学年1名以内と
しています。

記

機械工学コース	福元 清剛 水嶋 祐基
電気電子工学コース	富木 政宏
電子物質科学コース	川口 昂彦
化学バイオ工学コース	佐藤 浩平 藤本 圭佑
数理システム工学コース	呉 偉

以上

【本件に関する問い合わせ先】
静岡大学工学部・博士教務係
TEL 053-478-1010

令和6(2024)年度

大学院総合科学技術研究科(修士課程)

工学専攻

学生募集要項

一般入試

一般入試【令和5(2023)年10月期入学】

自己推薦型入試

自己推薦型入試【令和5(2023)年10月期入学】

社会人入試

外国人留学生入試

令和5年5月



静岡大学

目 次

コース別募集人員	1
静岡大学の理念と目標	2
総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー	2
工学専攻のアドミッション・ポリシー	3
■一般入試	7
■一般入試【令和5年10月期入学】	17
■自己推薦型入試	20
■自己推薦型入試【令和5年10月期入学】	26
■社会人入試	27
■外国人留学生入試	32
□障害等のある入学志願者の受験特別措置	38
□個人情報取扱い	38
□検定料の返還について	39
□安全保障輸出管理について	40
□静岡大学大学院総合科学技術研究科修士課程工学専攻概要	41
□浜松キャンパス案内図・建物配置図	巻末

コース 別 募 集 人 員

		工学専攻
コース	分 野	募集人員
機 械 工 学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	98名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	63名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	66名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	63名
数理システム工学		24名
事業開発マネジメント ※1		8名
6コース		計 322名

※1：事業開発マネジメントコースについては別冊をご覧ください。

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/document/manifesto.pdf> を参照ください。

総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

進展するグローバル化社会のなかで、社会的ニーズや科学技術の課題の解決のために、個別の専門分野を越えて柔軟に対応することができ、研究・開発や企業の海外展開における国際交流に貢献できる理工系人材の育成を目指します。また博士課程でのより高度な研究に取り組むことのできる人材の育成を目指します。

【目指す教育】

個別的な専門的基礎の上に立って、関連する専攻や自らの有する知識の社会的位置づけをも含めた、より広い融合的な学際分野について俯瞰する能力、外国語で自らの専門分野及び関連する諸分野について理解し、発表し、議論することのできる国際的な対応能力、および博士課程でのより高度な自立的研究の基礎となる能力を修得させます。

【求める学生像】

現在の様々な社会的・科学技術的な諸問題に対して強い関心があり、研究や科学技術の発展を通じて社会に貢献する強い意欲を持っている学生を求めます。さらに国際的な感覚を有し、海外の学生や研究者と協働して学習および研究や開発を遂行できる学生を求めます。

【入学に必要とされる資質・能力】

学士課程の個別的な専門分野で形成されるべき基礎的な知識と能力が必要です。またこれらの知識と能力を応用できる思考力、判断力および表現力が必要です。さらに国際的なコミュニケーション能力と共に、多様な人々と協働して学ぶことのできる意欲が必要です。

工学専攻のアドミッション・ポリシー

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、社会のニーズに基づく課題発見能力と問題解決能力を備え、地域社会だけでなく国際社会でもリーダーとして活躍し、高度技術社会に工学技術で貢献できる人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性および国際的な感覚を身につけ、多様化する社会にリーダーシップを発揮して柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための教育を行います。

【求める学生像】

高い専門能力と広い分野における柔軟性のある思考能力を持つ技術者および研究者を志す人、各コース分野に関する基礎学力を有し、強い学習・研究意欲を持つ人の入学を期待します。また、事業開発マネジメントコースでは、新しい事業や価値観を創造し起業・第二創業を目指す人、長期的な視点から実践的な技術経営を行う意欲のある人の入学を期待します。

【入学に必要とされる資質・能力】

工学専攻が行う入学者選抜試験は、受験者が工学に対する基礎知識と深い探究心を有しているかを判断するために実施します。一般入試では、各コース分野に関する基礎知識と論理的思考力を判断する筆記試験および TOEIC 試験による英語能力評価（事業開発マネジメントコースを除く）に加え、学問・研究に対する意欲や適性等を評価する面接試験を行います。また自己推薦型入試では、出願書類の審査による基本的資質・能力の判定に加え、各コース分野に関する基礎知識と学問・研究に対する積極的な意欲や適正等を面接試験により総合評価します。

【入学者選抜の基本方針】

《一般入試》

入学後、各コースにおいて学習・研究を行うために必要な能力、学力、適性などを判断するため、次の試験を課します。

[機械工学コース]

- (1) 数学：研究を行うための基本となる基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：志望する研究分野の専門的学力など、大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

[電気電子工学コース]

- (1) 数学：研究を行うために必要な基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識・基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

[電子物質科学コース]

- (1) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識と、研究分野に必要な専門的学力などを評価します。
- (2) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (3) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (4) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

[化学バイオ工学コース]

- (1) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識と、研究分野に必要な専門的学力などを評価します。
- (2) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (3) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (4) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

[数理システム工学コース]

- (1) 数学：研究を行うために必要となる基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

[事業開発マネジメントコース]

「口述試験，出願書類の審査結果」と「筆記試験の結果」をそれぞれ独立に合否判定し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

(1) 口述試験：研究希望テーマについてのプレゼンテーション及び同テーマに関する質疑応答です。

(2) 筆記試験：事業開発マネジメントについての論述問題です。コースの講義を受けるために必要な知識について出題します。

本コースで学習・研究を行うために必要な能力，学力，適性などを試験において総合的に判断します。

出願した研究希望テーマが適切であるか，研究に対する基礎学力と能力があるかを総合的に評価します。

《自己推薦型入試》

書類審査及び面接審査により，合否を判定します。

[機械工学コース]

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため，これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力（口頭試問あり）を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[電気電子工学コース]

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため，これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。簡易形式の筆記試問（採点せず）と面接を行います。
- ・ 自己推薦書：面接審査における学習意欲・積極性・知的好奇心等の評価に際して用います。

書類審査及び面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判定し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[電子物質科学コース]

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため，これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。
- ・ 面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力（口頭試問あり）を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[化学バイオ工学コース]

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。
- ・ 面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力（口頭試問あり）を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[数理システム工学コース]

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

《社会人入試》

本専攻で学習・研究を行うために必要な能力，学力，適正等を次の試験において総合的に判断します。

(1) 学力試験(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(2) 面接審査：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。

《外国人留学生入試》

[機械工学コース]

学力試験(筆記)は課さず，面接審査及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[電気電子工学コース]

学力試験(筆記)は課さず，面接審査（口頭試問（電気回路，電磁気学，電子回路ならびに数学から2科目程度）及び出願書類の審査を含む）の結果で選抜します。

[電子物質科学コース]

学力試験(筆記)は課さず，面接審査及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

[化学バイオ工学コース]

学力試験(筆記)は課さず，面接審査及び出願書類の結果を総合して合否判断し，最終的な合格者とします。

[数理システム工学コース]

学力試験(筆記)は課さず，面接審査及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し，両方の合格者を最終的な合格者とします。

一 般 入 試

1 出願資格

令和6年3月末日をもって、下記(1)～(14)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
 - (9) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする場合には、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達するもの
 - (11) 大学に3年以上在学した者であって、本大学院において定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(ただし、(1)の者を除く。)
- ※「総合科学技術研究科(修士課程)工学専攻入学試験出願資格(11)による志願者の選考方法等取扱要項」を参照ください。
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

(14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

注：（9）～（14）の資格で出願する場合は、事前審査を行いますので令和5年6月30日（金）までに

9ページ「4 出願書類提出先」あてに事前審査用紙等を請求し、令和5年7月7日（金）までに申請してください。申請時には最終学歴の卒業証明書、成績証明書が必要となります。（窓口での受付時間は平日の9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。）

総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻入学試験出願資格（11）による志願者の選考方法等取扱要項

出願資格（11）による志願者の選考方法等については、下記により取り扱います。

I. 事前審査

出願資格（11）による志願者には次により事前審査を課します。

1. 事前審査の合格基準

次の各号の全てを満たす者を事前審査の合格者とします。

- （1）本研究科修士課程工学専攻の一般入試の試験を実施する年度の3月末までに大学在学期間が3年間に達すること。
- （2）志願者の所属学科等で設定している卒業所要単位数の半分以上を2年次までに修得（必修科目は全て修得すること。）し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

2. 事前審査のための提出書類

- （1）事前審査申請書（本研究科修士課程工学専攻所定の用紙）
- （2）在学証明書（本学工学部在学者は不要）
- （3）成績証明書（本学工学部在学者は不要）
- （4）本研究科修士課程工学専攻での研究計画書（様式任意）
- （5）在籍大学学部・学科の学生便覧等（卒業要件及び卒業要件にかかる授業科目の構成がわかるもの）

II. 入学試験

事前審査の合格者に対し、本研究科修士課程工学専攻の一般入試の入学試験を受験させ、当該試験において優秀な成績を修めた者を仮合格とします。

Ⅲ. 最終審査

入学試験の仮合格者について、次により最終審査を行い、当審査に合格した者を最終合格とします。

1. 最終審査の合格基準

静岡大学工学部生については、次の各号の全てを満たす者について面接を行い最終審査の合格者とします。

- (1) 卒業に必要な全学教育科目(教養基礎科目・教養展開科目等)の全単位を修得していること
- (2) 3年次までに専門科目の卒業所要単位数の9割以上を修得し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

※静岡大学工学部生以外については、上記の基準に準ずる。

2. 最終審査のための提出書類

- (1) 3年次までの成績証明書
- (2) 学生便覧及びシラバス

3. 最終審査実施時期

上記2の書類が提出され次第速やかに実施します。

2 募集人員

コース	分野	募集人員
機 械 工 学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	59名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	38名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	40名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	39名
数理システム工学		12名
計	—	188名

募集人員には「社会人入試」及び「外国人留学生入試」を含みます。

3 出願期間

令和5年7月14日(金)から令和5年7月21日(金)まで。

(窓口での受付時間は平日の9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。)

4 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【一般入試】在中」と朱書きしてください。
い。郵送の場合も令和5年7月21日(金)の16時までの必着に限ります。

5 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	<p>本学所定の用紙</p> <p>志望コースにおいて、それぞれ第5志望以内の教員名を記入してください。なお、機械工学コースにおいては第3志望まで、電気電子工学コースにおいては第5志望まで記入してください。</p>
受験選択科目申告書	本学所定の用紙（機械、化学バイオ、数理システム工学コース志願者は記入してください。）
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部卒業生は本学で発行するので不要。本学工学部在学学生は自動発行機にて発行してください。
卒業（見込）証明書	出身大学（出身学校）が発行したもの。本学工学部卒業生は本学で発行するので不要。本学工学部在学学生は自動発行機にて発行してください。
学士の学位授与申請予定証明書	出身学校所定のもの（1出願資格(2)による出願者のみ）
<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。</p> <p>A T M（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p>払込取扱票の「ご依頼人」欄（3ヶ所）に住所、氏名（受験生本人）等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。</p> <p>（日附印のない場合には、出願書類を受理しません。）</p> <p>「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を貼り付けて、他の書類と共に提出してください。</p> <p>[注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。</p> <p>◎払込後の入学検定料は、39ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p>

返信用封筒（受験票返送用）	所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、84 円分の切手を貼ってください。
あて名票（合格通知等送付用）	本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。
TOEIC L&R（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの写し	A 4 サイズの用紙にコピーし提出してください。 ただし令和 3 年 4 月以降に受験した TOEIC L&R（または TOEFL）に限ります。なお、 <u>原本については面接時に確認しますので、受験時に必ず持参してください。</u> 出願時に写しを提出できない場合は出願を認めません。
その他	①現在、他の大学院に在学中の者は、当該大学院の受験許可書を提出してください。 ②外国人留学生にあつては、在留カードの写し又は住民票の写しを提出してください。 ③他大学等に在籍している国費外国人留学生は、当該大学等の発行する国費留学生証明書を提出してください。（様式任意）

6 選抜方法

学力試験と面接審査により、志望コースの可否を判定します。

7 選抜方針

入学後、各コースにおいて学習・研究を行うために必要な能力、学力、適性などを判断するため、次の試験を課します。

《機械工学コース》

- (1) 数学：研究を行うための基本となる基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：志望する研究分野の専門的学力など、大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R（または TOEFL）を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電気電子工学コース》

- (1) 数学：研究を行うために必要な基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識・基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R（または TOEFL）を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電子物質科学コース》

- (1) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識と、研究分野に必要な専門的学力などを評価します。
- (2) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (3) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (4) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《化学バイオ工学コース》

- (1) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識と、研究分野に必要な専門的学力などを評価します。
- (2) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (3) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (4) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《数理システム工学コース》

- (1) 数学：研究を行うために必要な基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

8 学力試験及び面接審査の日時・試験場等

(1) 日時

コース	令和5年 8月22日(火)		令和5年 8月23日(水)
	午前	午後	午後
機械工学	10:00-11:00 数 学	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
電気電子工学	10:00-11:00 数 学	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
電子物質科学	-	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
化学バイオ工学	-	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
数理システム工学	10:00-11:00 数 学	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接

(注) 辞書類及び携帯電話等の電子機器の持ち込みは不可とします。

(2) 試験場：静岡大学工学部（浜松市中区城北三丁目5番1号）

場所等の詳細については受験票送付の際、同封します。

9 学力試験科目及び面接審査等の配点

コース	数 学	専 門 科 目	外国語	面接
機械工学	数学(微積分・線形代数からの基礎的問題) (100 点)	材料力学, 熱力学, 流体力学, 機械力学, 電気電子工学の中から3科目選択 (300 点)	英語 (100 点)	面接 (100 点)
電気電子工学	数学(微積分・線形代数からの基礎的問題) (100 点)	電気回路, 電子回路, 電磁気学の3科目 (300 点)	英語 (100 点)	面接 (100 点)

コース	専 門 科 目	外国語	面 接
電子物質科学	物理化学, 電磁気学, 電気・電子回路, 固体物理・電子デバイス, 無機材料, 有機材料から3科目選択 *1 (400 点)	英語 (100 点)	面 接 (100 点)
化学バイオ工学	化学バイオ工学A, 化学バイオ工学Bから1科目選択 (400 点)	英語 (100 点)	面 接 (100 点)

コース	数 学	専 門 科 目	外国語	面 接
数理システム工学	数学(微積分・線形代数からの基礎的問題) (100 点)	数理科学基礎, 計算機科学基礎, 応用数学の中から2科目選択 (300 点)	英語 (100 点)	面接 (100 点)

*1 科目の選択については, 試験開始後に行う。

■英語: 全コースの英語については筆記試験を実施せず, TOEIC L&R スコア (X点) を下記の式で換算した点数を英語の得点 (Y点) とします。スコアの提出がない場合は, 出願を認めません。

$$Y = \{ (X - 250) / 500 \} \times 100$$

750点以上は100点, 250点以下は0点とし, 小数点以下は四捨五入します。

なお, TOEFL の場合は通常適用される換算式に基づいて TOEIC L&R のスコアへ換算します。

また, 面接時に TOEIC L&R (または TOEFL) の公式認定証またはスコアシートの原本を確認するので, 必ず受験時に持参してください。ただし, 令和3年4月以降に受験したものに限りません。

10 試験科目についての補足説明

試験科目については, 出題範囲等の補足説明が以下に記載されているので, 参考にしてください。

■機械工学コース 試験科目の補足説明 (各専門科目には以下の内容が含まれます。)

専門科目 (下記の科目の中から3科目選択します。)
材料力学: 棒の引張りと圧縮, 軸のねじり, はりの曲げ, 組合せ応力, ひずみエネルギー, 柱の座屈
熱力学: 熱力学の第1法則, 熱力学の第2法則, 理想気体の熱力学, 蒸気の性質, 熱サイクル, 空気調和, 圧縮性流体
流体力学: 静止流体の力学, 流体の基礎方程式, 運動量保存則, 管内の流れ, 物体周りの流れ, せん断流
機械力学: 1自由度系の振動, 自由振動と強制振動, 固有振動数と共振, 回転機械の振動, 多自由度系の振動, 振動モード, 連続体の振動, 自励振動と係数励振
電気電子工学: 直流交流電気回路, 論理回路

■電気電子工学コース 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目
電気回路 ：直流回路，交流回路，2端子対回路，伝送線路，過渡現象
電子回路 ：増幅回路，発振回路，オペアンプ回路，論理回路，デジタル回路，A/D・D/A変換
電磁気学 ：ベクトル解析，真空中の静電界，誘電体と静電界，磁性体と静磁界，定常電流と電気伝導，定常電流による静磁界，電磁誘導とインダクタンス，マクスウェル方程式，平面電磁波

■電子物質科学コース 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目（受験時に，下記の科目の中から3科目選択します。）
物理化学 ：熱力学第一法則とその応用，熱力学第二法則とその応用，量子化学，電気化学
電磁気学 ：静電界，静磁界，定常電流と電気伝導，電磁誘導，マクスウェル方程式
電気・電子回路 ：電気回路，電子回路，アナログ回路，デジタル回路，過渡現象
固体物理・電子デバイス ：固体物理学（結晶，格子振動，逆格子空間，バンド構造，電気伝導，シュレディンガー波動方程式等），半導体工学（半導体，ダイオード，トランジスタ等）
無機材料 ：固相反応（熱力学・動力学・物質合成学等），固体構造（結晶学・X線構造解析等），固体物性（電磁気・光・電気化学特性等）
有機材料 ：有機化合物の構造と物性，有機化合物の反応，高分子，液晶，色素

■化学バイオ工学コース 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目
下記テキストの内容を基本とした各科目の基礎および応用への総合力を問う問題を出題します。
化学バイオ工学A
物理化学（量子化学を含む）：アトキンス物理化学（第10版・東京化学同人）
有機化学（合成有機化学を含む）：スミス有機化学（第5版・化学同人），有機化学のためのスペクトル解析法（第2版・化学同人）
化学工学：化学工学（改訂第3版・朝倉書店），基礎化学工学（共立出版）
無機化学：無機化学 その現代的アプローチ（第2版・東京化学同人），シュライバー・アトキンス無機化学（第6版・東京化学同人）
環境化学：入門 環境の科学と工学（共立出版），環境科学の基礎（第2版・東京電機大学出版局）
化学バイオ工学B
基礎化学（無機化学）：無機化学 その現代的アプローチ（第2版・東京化学同人），シュライバー・アトキンス無機化学（第6版・東京化学同人）
基礎化学（物理化学）：アトキンス物理化学（第10版・東京化学同人）
基礎化学（有機化学）：スミス有機化学（第5版・化学同人）
化学工学：化学工学（改訂第3版・朝倉書店），基礎化学工学（共立出版）
バイオ応用工学（選択問題、下記より1題選択）
選択1 ケミカルバイオロジー：スミス有機化学（第5版・化学同人）
選択2 バイオマテリアル：高分子化学入門（三訂・NTS）
選択3 バイオプロセス：ホートン生化学（第5版・東京化学同人）

■数理システム工学コース 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目（下記の科目の中から2科目選択します。）

数理科学基礎：常微分方程式（初等解法，2次元自励系），確率統計（確率統計の基礎と確率モデリング），数理計画

計算機科学基礎：数値表現とデータ表現，情報と論理（主に，集合・論理演算，論理関数），データ構造，アルゴリズム（主に，探索，整列アルゴリズム）

応用数学：フーリエ級数，偏微分方程式，ベクトル解析

11 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し，入学願書とともに提出してください。

（「令和6年度入学用静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻概要」参照）なお，機械工学コースを志望する者は，研究指導教員名を第3志望まで（第1～第3志望以外の扱いについては，面接の結果により決定します）記入してください。また，電気電子工学コースを志望する者は第5志望まで記入してください。

12 合格者発表

令和5年9月1日（金）12時（予定）に図書館・学生支援棟玄関付近に掲示するとともに，合格者本人に郵送にて通知します。また，静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページにも「合格者受験番号」を掲載します。閲覧期間は合格発表日時から1週間です。なお，電話等の照会には一切応じません。

静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページ

<https://www.eng.shizuoka.ac.jp/>

13 入学手続

令和6年3月に，工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は，令和6年2月中旬に本人あてに別途通知します。

14 入学料及び授業料（予定）

(1) 入学料 282,000円（令和5年度実績額）

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（令和5年度実績額）

注. ①入学料は入学手続き時に，前期分授業料は令和6年4月中に納入してください。

②本学では，文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

③在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

④入学料はいかなる理由があっても返還しません。

15 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは，職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し，本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で，長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし，審査の結果，認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は，工学部・博士教務係までお問い合わせください。

16 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合、各コースとも第2次募集を行うことがあります。追加合格による欠員補充は行いません。

17 大学院入試成績情報の提供

(1) 入試成績情報の開示

本大学院には、入試成績情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和5年1月15日(水)から令和5年12月15日(金)の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部入試課まで問い合わせてください。

学務部入試課 TEL 054-238-4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、工学部・博士教務係窓口及び入試情報閲覧室(静岡キャンパス共通教育A棟4階)で閲覧することができます。

18 注意事項等

- (1) 学力試験及び面接審査には、必ず受験票を持参してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻した者は、当該科目以降のすべての科目の受験を認めません。
- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗車、「静岡大学」で下車。(所要時間約20分)
- (5) 募集要項の請求 工学部・博士教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学専攻(修士課程)募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号・住所・氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。
〔【返信用封筒】：角型2号(33cm×24cm)の封筒に請求者の郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分の切手を貼付してください〕

請求先：〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

■問い合わせ先■

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

令和5年度 静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻

10月期入学 学生募集要項（一般入試）

令和5年10月期入学試験は、令和6年4月入学を前提として作成された「令和6年度静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻学生募集要項」に基づいて実施します。「1出願資格」、「2募集人員」、「3入学手続き」以外の詳細については令和6年度静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻学生募集要項「一般入試」を参照してください。

1 出願資格

令和5年9月末日をもって、下記（1）～（14）のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする場合には、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達するもの

(11) 大学に3年以上在学した者であって、本大学院において定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの（ただし、(1)の者を除く。）

※「総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻入学試験出願資格（11）による志願者の選考方法等取扱要項」を参照ください。

(12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

(13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

(14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

注：(9)～(14)の資格で出願する場合は、事前審査を行いますので令和5年6月30日(金)までに

9ページ「4 出願書類提出先」あてに事前審査用紙等を請求し、令和5年7月7日(金)までに申請してください。申請時には最終学歴の卒業証明書、成績証明書が必要となります。

総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻入学試験出願資格（11）による志願者の選考方法等取扱要項

出願資格（11）による志願者の選考方法等については、下記により取り扱います。

I. 事前審査

出願資格（11）による志願者には次により事前審査を課します。

1. 事前審査の合格基準

次の各号の全てを満たす者を事前審査の合格者とします。

- (1) 本研究科修士課程の一般入試の入学試験を実施する年度の9月末までに大学在学期間が3年間に達すること。
- (2) 志願者の所属学科等で設定している卒業所要単位数の半分以上を2年次までに修得（必修科目は全て修得すること。）し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

2. 事前審査のための提出書類

- (1) 事前審査申請書（本研究科修士課程所定の用紙）
- (2) 在学証明書（本学工学部在学者は不要）
- (3) 成績証明書（本学工学部在学者は不要）
- (4) 本研究科修士課程での研究計画書（様式任意）
- (5) 在籍大学学部・学科の学生便覧等（卒業要件及び卒業要件にかかる授業科目の構成がわかるもの）

II. 入学試験

事前審査の合格者に対し、本研究科修士課程の一般入試の入学試験を受験させ、当該試験において優秀な成績を修めた者を仮合格とします。

III. 最終審査

入学試験の仮合格者について、次により最終審査を行い、当審査に合格した者を最終合格とします。

1. 最終審査の合格基準

静岡大学工学部生については、次の各号の全てを満たす者について面接を行い最終審査の合格者とします。

- (1) 卒業に必要な教養科目(教養基礎科目・教養展開科目等)の全単位を修得していること
- (2) 3年次までに専門科目の卒業所要単位数の9割以上を修得し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

※静岡大学工学部生以外については、上記の基準に準ずる。

2. 最終審査のための提出書類

- (1) 3年次までの成績証明書
- (2) 学生便覧及びシラバス

3. 最終審査実施時期

上記2の書類が提出され次第速やかに実施します。

2 募集人員

コース	分野	募集人員
機械工学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	若干名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	若干名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	若干名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	若干名
数理システム工学		若干名
計	—	若干名

3 入学手続き

令和5年9月に、工学部において行います。日時及び提出書類の詳細は、合格発表時にお知らせいたします。

自己推薦型入試

1 自己推薦型入試の趣旨

近年、科学技術の進展と広がりが著しく、新しい学問分野のみならず、既存の学問体系の枠を越えた学際的学問分野等の開拓も重要となってきています。こうした社会的要請に応えるべく、本研究科修士課程工学専攻では学生一人一人に特徴ある教育と研究を目的として、本学出身者及び多くの大学、学部出身の学生にも門戸を広げた自己推薦型入試を実施します。

すなわち、本学及び他大学出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば、他分野を専攻した者も含め、入学を歓迎するというもので、その選考は、出願書類の審査及び面接審査によって行う特別の制度です。

2 出願資格

機械工学、電気電子工学、電子物質科学、化学バイオ工学、数理システム工学に深い関心と熱意を有し、学業成績が優秀で創造的な研究活動に意欲的に取り組める者であり、入試に合格した場合、入学を確約できる者、かつ下記(1)～(4)のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を令和6年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を令和6年3月修了見込みの者

3 募集人員

コース	分野	募集人員
機械工学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	39名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	25名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	26名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	24名
数理システム工学		12名
計	—	126名

4 出願期間

令和5年5月29日(月)から令和5年6月2日(金)まで。

(窓口での受付時間は平日の9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。)

5 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
 郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【自己推薦型入試】在中」と朱書き
 してください。なお、郵送の場合も令和5年6月2日（金）の16時までの必着に限りま。

6 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	本学所定の用紙 第5志望以内の教員名を記入してください。
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部在籍者は自動発行機にて発行してください。
自己推薦書	本学所定の用紙 得意科目や学問以外の得意なこと、今後の学習及び研究に対する抱負について、「2,000字以内」(A4判 縦長・横書)にまとめたもので、必ず自署してください。
卒業見込証明書	出身大学(出身学校)が発行したもの。 本学工学部在籍生は自動発行機で発行してください。
学士の学位授与申請予定証明書	出身学校所定のもの(2出願資格(2)による出願者のみ)
<入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000円) (国費留学生は不要)	同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行(ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。)の受付窓口で払込んでください。 ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。 払込取扱票の「ご依頼人」欄(3ヶ所)に住所、氏名(受験生本人)等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。 (日附印のない場合には、出願書類を受理しません。) 「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を貼り付けて、他の書類と共に提出してください。 [注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。 ◎払込後の入学検定料は、39ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

返信用封筒（受験票返送用）	所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、84 円分の切手を貼ってください。
あて名票（合格通知等送付用）	本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。
TOEIC L&R（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの写し	A 4 サイズの用紙にコピーし提出してください。 ただし令和 3 年 4 月以降に受験した TOEIC L&R（または TOEFL）に限ります。なお、 <u>原本については面接時に確認しますので、受験時に必ず持参してください。</u> 出願時に写しを提出できない場合は出願を認めません。
その他	①外国人留学生にあつては、在留カードの写し又は住民票の写しを提出してください。 ②他大学等に在籍している国費外国人留学生は、当該大学等の発行する国費留学生証明書を提出してください。 (様式任意)

7 選抜方法

書類審査及び面接審査により、合否を判定します。

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法（オンライン等）で選抜を実施することもあります。

8 選抜方針

《機械工学コース》

（書類審査）

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。
そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R（または TOEFL）を課します。

（面接審査）

- ・ 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力（口頭試問あり）を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電気電子工学コース》

（書類審査）

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。
そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R（または TOEFL）を課します。

（面接審査）

- ・ 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
簡易形式の筆記試問（採点せず）と面接を行います。
- ・ 自己推薦書：面接審査における学習意欲・積極性・知的好奇心等の評価に際して用います。

書類審査及び面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電子物質科学コース》

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。
- ・ 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力(口頭試問あり)を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《化学バイオ工学コース》

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。
- ・ 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力(口頭試問あり)を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《数理システム工学コース》

(書類審査)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC L&R (または TOEFL) を課します。

(面接審査)

- ・ 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

書類審査の結果と面接審査の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

9 書類審査及び面接審査等の配点

全コース 書類審査400点、面接審査100点、計500点で審査します。

10 面接審査の日時・試験場等

日 時：令和5年7月6日(木) 13時30分～

試験場：静岡大学工学部(浜松市中区城北三丁目5番1号)

[場所等の詳細については受験票送付の際、通知します。]

11 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し、入学願書とともに提出してください。
(「令和6年度入学用静岡大学大学院総合科学技術研究科(修士課程)工学専攻概要」参照)

12 合格者発表

令和5年7月14日（金）12時(予定)に図書館・学生支援棟玄関付近に掲示するとともに、合格者本人に郵送にて通知します。また、静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページにも「合格者受験番号」を掲載します。閲覧期間は合格発表日時から1週間です。なお、電話等の照会には一切応じません。

静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページ

<https://www.eng.shizuoka.ac.jp/>

13 入学手続

令和6年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、令和6年2月中旬に本人あてに別途通知します。

14 入学料及び授業料（予定）

(1) 入学料 282,000円（令和5年度実績額）

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（令和5年度実績額）

注. ①入学料は入学手続き時に、前期分授業料は令和6年4月中に納入してください。

②本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

③在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

④入学料はいかなる理由があっても返還しません。

15 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部・博士教務係までお問い合わせください。

16 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合、各コースとも「追加合格」及び「第2次募集」は行いません。

17 大学院入試成績情報の提供

入試成績情報の開示

本大学院には、入試成績情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和5年11月15日（水）から令和5年12月15日（金）の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部入試課まで問い合わせてください。

学務部入試課 TEL 054-238-4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

18 注意事項等

- (1) 面接審査には、必ず受験票を持参してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻した者は受験を認めません。
- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに
乗車、「静岡大学」で下車(所要時間約20分)
- (5) 募集要項の請求 工学部・博士教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求
する封筒の表に「工学専攻（修士課程）募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を
必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。
〔【返信用封筒】：角型2号（33cm×24cm）の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、250円
分の切手を貼付してください〕

■問い合わせ先■

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

令和5年度 静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻

10月期入学 学生募集要項（自己推薦型入試）

令和5年10月期入学試験は、令和6年4月入学を前提として作成された「令和6年度静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻学生募集要項」に基づいて実施します。「1出願資格」、「2募集人員」、「3入学手続き」以外の詳細については令和6年度静岡大学大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻学生募集要項「自己推薦型入試」を参照してください。

1 出願資格

機械工学，電気電子工学，電子物質科学，化学バイオ工学，数理システム工学に深い関心と熱意を有し，学業成績が優秀で創造的な研究活動に意欲的に取り組める者であり，入試に合格した場合，入学を確約できる者、かつ令和元年10月に大学に入学し，令和5年9月卒業見込みの者。

2 募集人員

コース	分野	募集人員
機械工学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	若干名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	若干名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	若干名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	若干名
数理システム工学		若干名
計	—	若干名

3 入学手続き

令和5年9月に、工学部において行います。日時及び提出書類の詳細は、合格発表時にお知らせいたします。

社会人入試

1 社会人入試の趣旨

近年、科学技術の発展と情報化・国際化の急速な進展とが高齢化社会の到来と相まって「生涯教育」の必要性が増大し、生涯教育制度の確立が要望されています。このような時代の情勢に鑑み、企業等で活躍している社会人の教育・研究の場として、本研究科修士課程工学専攻を広く開放するための特別の選考を行います。

2 出願資格

「一般入試」の「1 出願資格」を満たし、令和6年3月末まで同一の企業に1年以上正規の職員として勤務し、かつ4月以降も引き続き在職をする見込みの者で、所属長から受験することを推薦又は許可された者とします。（ただし、出願時に学部学生として在学中の者を除きます。）

3 募集人員

コース	分野	募集人員
機械工学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	若干名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	若干名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	若干名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	若干名
数理システム工学		若干名

4 出願期間

令和5年7月14日（金）から令和5年7月21日（金）まで。

（窓口での受付時間は9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。）

5 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【社会人入試】在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合も令和5年7月21日（金）の16時までの必着に限ります。

6 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	本学所定の用紙 第5志望以内の教員名を記入してください（「10 研究指導教員の選定について」を参照）。
志望理由書	本専攻を志望する理由を「1000字以内」にまとめたもの（A4判，様式任意）
研究業績報告書	現在及び過去に携わった研究・技術職について，その業績内容を「1000字以内」にまとめたもの及びその他技術報告書，特許，実用新案，本人の業績を表す文書等（研究業績報告書はA4判，様式任意）
推薦書【任意提出資料】	勤務先の所属長が記入したもの（A4判，様式任意）
受験許可書	勤務先の所属長が記入したもの（A4判，様式任意）
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部卒業の者は本学で発行するので不要。
卒業証明書	出身大学（出身学校）が発行したもの。 本学工学部卒業の者は本学で発行するので不要。
<p data-bbox="229 1137 539 1171"><入学検定料>振替払込</p> <p data-bbox="229 1205 512 1238">受付証明書 貼付用紙</p> <p data-bbox="245 1272 539 1305">（入学検定料 30,000 円）</p>	<p data-bbox="713 1120 1447 1238">同封の「払込取扱票」により，郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。</p> <p data-bbox="713 1254 1347 1288">ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p data-bbox="713 1303 1447 1422">払込取扱票の「ご依頼人」欄（3ヶ所）に住所，氏名（受験生本人）等を，黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。</p> <p data-bbox="713 1438 1447 1601">「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には，必ず日附印の押印を確認してください。</p> <p data-bbox="727 1617 1374 1650">（日附印のない場合には，出願書類を受理しません。）</p> <p data-bbox="713 1666 1447 1848">「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ，「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を貼り付けて，他の書類と共に提出してください。</p> <p data-bbox="713 1863 1447 1960">[注]「振替払込請求書兼受領証」は，受験票を受け取るまで大切に保存してください。</p> <p data-bbox="713 1975 1447 2107">◎払込後の入学検定料は，39ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。</p>

返信用封筒（受験票返送用）	所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し，84 円分の切手を貼ってください。
あて名票（合格通知等送付用）	本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。
TOEIC L&R（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの写し	A 4 サイズの用紙にコピーし提出してください。 ただし令和 3 年 4 月以降に受験した TOEIC L&R（または TOEFL）に限ります。なお、 <u>原本については面接時に確認しますので、受験時に必ず持参してください。</u> 出願時に写しを提出できない場合は出願を認めません。
その他	外国人にあつては，在留カードの写し又は住民票の写しを提出してください。

7 選抜方法

学力試験（外国語（英語）），面接審査及び出願書類の結果を総合して行います。

（1）学力試験

外国語（英語）「配点 100 点」

全コースの英語については，筆記試験を実施せず，TOEIC L&R のスコア(X点)を下記の式で換算した点数を英語の得点(Y点)とします。スコアの提出がない場合は，出願を認めません。

$$Y = \{ (X - 250) / 500 \} \times 100$$

750点以上は100点，250点以下は0点とし，小数点以下は四捨五入します。

なお，TOEFL の場合は通常適用される換算式に基づいて TOEIC L&R のスコアへ換算します。

また，面接時に TOEIC L&R（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの原本を確認するので，必ず受験時に持参してください。ただし，令和3年4月以降に受験したものに限りま

（2）面接審査「配点 100 点」

大学卒業程度の学力・研究業績報告書等について，面接審査を行います。

8 選抜方針

本専攻で学習・研究を行うために必要な能力，学力，適正等を次の試験において総合的に判断します。

- （1）学力試験（英語）：英語で書かれた文章の読解力やリスニング能力等外国語運用能力を評価します。そのため，これらを総合的に評価できる TOEIC L&R（または TOEFL）を課します。
- （2）面接審査：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。

9 面接審査の日時・試験場等

(1) 日時

コース	令和5年8月23日(水)
機械工学	13:00— 面接
電気電子工学	13:00— 面接
電子物質科学	13:00— 面接
化学バイオ工学	13:00— 面接
数理システム工学	13:00— 面接

(2) 試験場：静岡大学工学部（浜松市中区城北三丁目5番1号）
場所等の詳細については受験票送付の際、同封します。

10 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し、入学願書とともに提出してください。
（「令和6年度入学用静岡大学大学院総合科学技術研究科(修士課程)工学専攻概要」参照）なお、研究指導教員の選定にあたっては、研究内容等について、予め志望する教員にガイダンスを受けてください。

11 合格者発表

令和5年9月1日（金）12時(予定)に図書館・学生支援棟玄関付近に掲示するとともに、合格者本人に郵送にて通知します。また、静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページにも「合格者受験番号」を掲載します。閲覧期間は合格発表日時から1週間です。なお、電話等の照会には一切応じません。

静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページ

<https://www.eng.shizuoka.ac.jp/>

12 入学手続

令和6年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、令和6年2月中旬に本人あてに別途通知します。

13 入学料及び授業料（予定）

(1) 入学料 282,000円（令和5年度実績額）

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（令和5年度実績額）

注. ①入学料は入学手続き時に、前期分授業料は令和6年4月中に納入してください。

②本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

③在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

④入学料はいかなる理由があっても返還しません。

14 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部・博士教務係までお問い合わせください。

15 大学院入試成績情報の提供

(1) 入試成績情報の開示

本大学院には、入試成績情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和5年11月15日（水）から令和5年12月15日（金）の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部入試課までお問い合わせください。

学務部入試課 TEL 054-238-4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、工学部・博士教務係窓口で閲覧することができます。

16 注意事項等

- (1) 出願に際しては、志望する研究指導教員等に、予め研究内容についてガイダンスを受けるようにしてください。
- (2) 面接審査には、必ず受験票を持参してください。
- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗り、「静岡大学」で下車。（所要時間約20分）
- (5) 募集要項の請求 工学部・博士教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学専攻（修士課程）募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。
〔【返信用封筒】：角型2号（33cm×24cm）の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手を貼付してください〕

■問い合わせ先■

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号
TEL053-478-1010

外国人留学生入試

1 出願資格

下記(1)～(3)のいずれかに該当する者。

ただし、いずれの場合も日本の大学(学部)を卒業又は卒業見込みの者は除きます。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了している者で、さらに本学に研究生として在学している外国人留学生
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了している者で、さらに本学以外の日本の大学に研究生として在学している外国人留学生
- (3) その他本専攻において、上記(1)又は(2)に準ずるものと認めた者

注：(3)の資格で出願する場合は、事前審査を行うので令和5年10月6日(金)までに「4 出願書類提出先」あてに事前審査用紙等を請求し、令和5年10月20日(金)までに申請してください。申請時には最終学歴の卒業証明書、成績証明書が必要となります。

2 募集人員

コース	分野	募集人員
機械工学	宇宙・環境 知能・材料 電気機械システム	若干名
電気電子工学	情報エレクトロニクス エネルギー・電子制御	若干名
電子物質科学	電子物理デバイス 材料エネルギー化学	若干名
化学バイオ工学	環境応用化学 バイオ応用工学	若干名
数理システム工学		若干名

3 出願期間

令和5年11月20日(月)から令和5年11月30日(木)まで。

(窓口での受付時間は9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。)

4 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【外国人留学生入試】在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合も令和5年11月30日(木)の16時までの必着に限ります。

5 出願書類等

【本入試の出願書類は、本冊子綴じこみの用紙とは異なるので別途請求ください(15(5)参照)】

書 類 等	注 意 事 項
入学願書 (受験票・写真票)	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
志望理由書	本専攻を志望する理由を「1000字以内」にまとめたもの。 (A4判, 和文, 様式任意)
最終出身学校の成績証明書	発行者において厳封したもの。
最終出身学校の卒業(修了)証明書	出身大学(学校)が発行したもの。
履歴書	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行(ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。)の受付窓口で払い込んでください。 ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。 払込取扱票の「ご依頼人」欄(3ヶ所)に住所、氏名(受験生本人)等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。 (日附印のない場合には、出願書類を受理しません。) 「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を貼り付けて、他の書類と共に提出してください。 [注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。 ◎払込後の入学検定料は、39ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p>
返信用封筒(受験票返送用)	所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、84円分の切手を貼ってください。
あて名票(合格通知等送付用)	本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入ください。
国費留学生証明書(様式任意)	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
<p>研究生在学証明書 (他大学からの志願者のみ)</p>	本学以外の日本の大学に研究生として在学している外国人留学生は、出願時点で研究生として在学している証明書を提出してください。

日本語、英語に係る各種試験の結果通知書の写し等 (機械, 電気電子, 数理システム工学コース志願者のみ)	結果通知書(あるいはインターネットで確認した試験結果画面のハードコピーと受験票)をA4サイズの用紙にコピーし提出してください。 ただし、試験日より3年以内に結果が判明したものに限り、なお、結果通知書の原本については面接時に確認しますので、受験時に必ず持参してください。 <u>出願時に写しを提出できない場合は出願を認めません。</u>
その他	在留カードの写し又は住民票の写しを提出してください。

6 選抜方法等

(1) 機械工学コース

学力試験(筆記)は課さず、面接審査及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

(2) 電気電子工学コース

学力試験(筆記)は課さず、面接審査(口頭試問(電気回路, 電磁気学, 電子回路ならびに数学から2科目程度)及び出願書類の審査を含む)の結果で選抜します。

(3) 電子物質科学コース

学力試験(筆記)は課さず、面接審査及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

(4) 化学バイオ工学コース

学力試験(筆記)は課さず、面接審査及び出願書類の結果を総合して合否判断し、最終的な合格者とします。

(5) 数理システム工学コース

学力試験(筆記)は課さず、面接審査及び出願書類の内容をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

*機械, 電気電子, 数理システム工学コースの日本語, 英語について

受験資格として日本語については日本語能力試験(JLPT)(または実用日本語検定(J.TEST), 日本留学試験(EJU)「日本語」)の結果を, 英語についてはTOEIC L&R(またはTOEFL, IELTS)の結果を利用します。利用できる各試験の結果は, 試験日より3年以内のものに限ります。受験資格は表中の(1)か(2)のいずれかを満たすこととします。

(1) 日本語、英語それぞれについて、一つ以上を満たすこと	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLPT の N2 級以上に合格している ・ J. TEST の C 級以上に認定されている ・ EJU 「日本語(読解, 聴解・聴読解)」で 200 点以上を有する
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC L&R で 500 点以上を有する(電気電子, 数理システム工学コースは 550 点以上) ・ TOEFL (iBT) で 52 点以上を有する(電気電子, 数理システム工学コースは 60 点以上) ・ IELTS で 4.5 以上を有する
(2) 英語、日本語それぞれについて、一つ以上を満たすこと	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC L&R で 750 点以上を有する ・ TOEFL (iBT) で 83 点以上を有する ・ IELTS で 6.0 以上を有する
	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLPT の N4 級以上に合格しているか, N5 級を 140 点以上の得点で合格している ・ J. TEST の E 級以上に認定されているか, F 級を 300 点以上の得点で認定されている

7 選抜方針

本研究科修士課程工学専攻で学習・研究を行うために必要な能力，学力，適正等を次の各試験において総合的に判断します。

面接：志望動機や将来の目標，意欲，熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。

8 学力試験及び面接の日時・場所等

試験区分	期 日	時 間	場 所
面 接	令和5年 12月13日(水)	13:00-	静岡大学工学部内 〔試験室については受験票 送付時に通知します。〕

9 試験科目及び面接等の配点

(1) 機械工学，電気電子工学，数理システム工学コース

面接
100点

(2) 電子物質科学コース

面 接	書 類
150点	50点

(3) 化学バイオ工学コース

面 接	書 類
100点	100点

10 合格者発表

令和6年1月5日(金)10時(予定)に図書館・学生支援棟玄関付近に掲示するとともに，合格者本人に郵送にて通知します。また，静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページにも「合格者受験番号」を掲載します。閲覧期間は合格発表日時から1週間です。なお，電話等の照会には一切応じません。

静岡大学工学部・総合科学技術研究科工学専攻ホームページ

<https://www.eng.shizuoka.ac.jp/>

11 入学手続

令和6年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、令和6年2月中旬に本人あてに別途通知します。

12 入学科及び授業料（予定）

- (1) 入学科 282,000円（令和5年度実績額）
- (2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（令和5年度実績額）

注. ①入学科は入学手続き時に、前期分授業料は令和6年4月中に納入してください。

②本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

③在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

④入学科はいかなる理由があっても返還しません。

13 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部・博士教務係までお問い合わせください。

14 大学院入試成績情報の提供

(1) 入試成績情報の開示

本大学院には、入試成績情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和6年4月15日（月）から令和6年5月15日（水）の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部入試課まで問い合わせてください。

学務部入試課 TEL 054-238-4464

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、工学部・博士教務係窓口で閲覧することができます。

15 注意事項等

- (1) 学力試験及び面接審査には、必ず受験票を持参してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻した者は、当該科目以降のすべての科目の受験を認めません。
- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。
- (4) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗車、「静岡大学」で下車。(所要時間約20分)
- (5) 募集要項の請求 工学部・博士教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学専攻(修士課程)外国人留学生入試募集要項 請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。〔【返信用封筒】：角型2号(33cm×24cm)の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手を貼付してください〕

請求先：〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

出願用紙のみ請求する場合は、その旨明記してください。(返信用封筒に貼る切手は250円分で可)

■問い合わせ先■

静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

障害等のある入学志願者の受験特別措置

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に本研究科修士課程工学専攻と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願の一週間前まで
申請の方法	『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係 TEL 053-478-1010 FAX 053-471-0249

- 【注】 1 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、
84円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した
『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- 2 電話による照会及び『大学院受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日には受け付けませんので注意してください。

個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、以下のとおり取り扱います。

- 1 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善を支援するための調査・研究を行うために利用します。
- 2 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善を支援するための調査・研究を行うために利用します。

検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが本学大学院に出席しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

(2) 返還する検定料の金額

志願者本人の申出により二重払い込み分又は全額を返還します。

(3) 返還請求の方法

上記(1)の①または②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」または「振替払込請求書兼受領証」を添付して、令和6年2月21日(水) [必着]までに、静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係(〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号)へ郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

なお、返還に係る振込み手数料は、請求者の負担とします。

静岡大学入学検定料返還請求書	
令和 年 月 日	
静岡大学長 殿	
1	返還請求の理由
2	入試区分 (自己推薦型入試, 自己推薦型入試(10月入学) 一般入試, 一般入試(10月入学), 社会人入試, 留学生入試)
3	志望しようとした専攻・コース名
4	氏名 (フリガナ)
5	現住所
6	連絡先電話番号
7	返還請求額 (30,000 円)
8	返還金振込先 ・金融機関名, 支店名 ・預金種別 (当座・普通), 口座番号 ・口座名義 (フリガナ) ・口座名義人が志願者と異なる場合は, 志願者との続柄

<大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について>

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の免除又は全額を返還します。

詳しくは、専用サイト (<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。

安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営 > 静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

令和6年度入学用静岡大学大学院総合科学技術研究科(修士課程)工学専攻概要

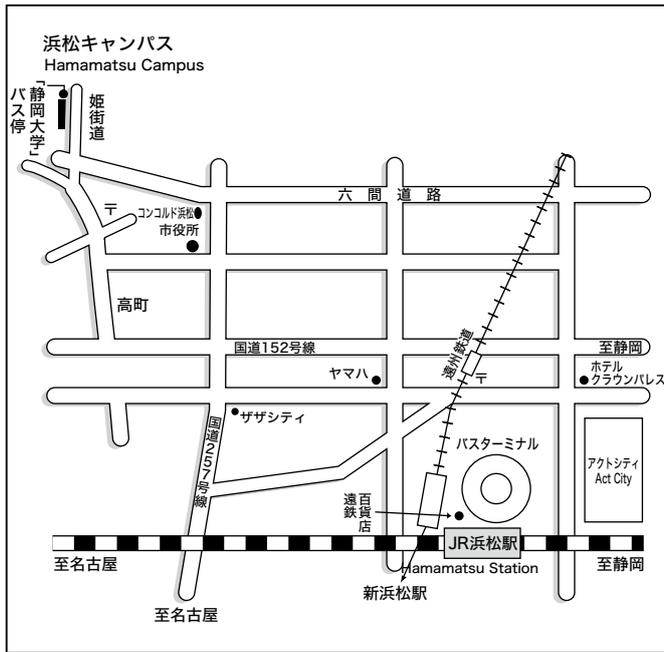
コース、分野、研究指導教員、研究内容は下記のとおりです。
この一覧表を参照し志望のコース及び研究指導教員を選定してください。

(注) △印は退職予定教員または長期海外出張教員を示し、指導教員として志望することはできません。
助教が担当する指導学生数は、全ての選抜試験を含めて1学年1名以内としています。
自己推薦型入試の結果により、一般入試において研究指導を志望できない教員(助教)がある場合がありますので、自己推薦型入試の合格発表後、工学部・総合科学技術研究科工学専攻HPにてお知らせします。
(工学部HP: <https://www.eng.shizuoka.ac.jp/>)

コース	分野	教員	研究内容
機械工学	宇宙・環境	教授 桑原 不二朗	熱流動のシミュレーション, 局所的気象予測
		教授 真田 俊之	分散性混相流, 物理洗浄
		教授 能見 公博	宇宙機械制御システムに関する研究, 実機による宇宙実験(超小型衛星など)
		教授 福田 充宏	冷媒圧縮機および冷凍システムに関する研究
		教授 モベディ モクタダ	対流熱伝達, 数値伝熱学, 伝熱促進, 蓄熱
		准教授 岡本 正芳	数値計算による乱流研究
		准教授 柿本 益志	多孔質体の熱移動, 高性能断熱層の開発
		准教授 川崎 央	爆轟燃焼やアーク放電を用いた宇宙輸送システム, 電磁流体を用いたエネルギー変換
		准教授 佐野 吉彦	機能性膜分離技術の応用, 熱・物質輸送, 医療工学
		准教授 吹場 活佳	航空工学, 空気吸い込み式推進, 極超音速機
		准教授 益子 岳史	自己駆動体の集団現象, 交通流, 熱流体
		准教授 松井 信	高温気体力学, 宇宙推進工学, 宇宙エネルギー利用に関する研究
		准教授 本澤 政明	磁気機能性流体の熱流動特性, 流体機能の応用, 非ニュートン流体
		助教 水嶋 祐基	光ファイバー, レーザーを活用した混相流計測
知能・材料		教授 酒井 克彦	切削加工モニタリング技術, レアメタルフリー工具材料開発, 難削材切削加工
		教授 坂井田 喜久	X線応力測定, 先進部材の強化メカニズム解明, マクロ特性発現機構の解明
		教授 島村 佳伸	材料強度学, 材料力学, 複合材料工学
		教授 △田中 繁一	インクリメンタル成形, レーザ援用塑性加工
		教授 △鳥居 孝夫	機械・構造物の振動解析
		教授 早川 邦夫	塑性加工におけるプロセス解析, 素材・工具の弾塑性変形・損傷・破壊の評価
		教授 △三浦 憲二郎	形状モデリング, ナノマイクロモデリング, CG, 画像処理, 知的計測
		准教授 伊藤 友孝	ロボット制御, 人間と機械の協調, ヒューマン・マシン・インタフェース
		准教授 白杵 深	光学顕微鏡, 三次元計測, 画像処理, コンピュータショナルイメージング
		准教授 菊池 将一	先進材料の疲労破壊, 非鉄金属の高機能化, 表面改質
		准教授 小林 祐一	移動ロボットの環境認識・行動計画, ロボットの認識・運動制御の学習
		准教授 静 弘生	超精密切削加工, 微細加工, 環境対応型切削加工, 難削材・新材料の切削加工
		准教授 藤井 朋之	材料強度学, 材料力学, 先進材料の強度と破壊
		准教授 吉田 健吾	金属材料の破断現象, 多結晶金属の塑性構成則
電気機械システム		教授 居波 涉	超高分解能光学顕微鏡, レーザー顕微計測, ナノバイオテクノロジー, 光散乱シミュレーション
		教授 岩田 太	走査型プローブ顕微鏡, 光応用計測・加工, 精密機器学, 光医学
		教授 海老澤 嘉伸	ビデオカメラを用いたヒューマン・インターフェース装置開発, 視覚システム計測
		教授 △大岩 孝彰	精密機械システム, 精密運動機構, 精密計測, パラレルメカニズム, パラレルロボット
		教授 川田 善正	ナノフォトニクス, バイオフォトニクス, 光計測, 3次元顕微光学, 光物理
		教授 近藤 淳	弾性波や光表面波の解析及びセンサ・アクチュエータへの応用
		教授 橋口 原	半導体センサ, アクチュエータ, バイオナノ応用デバイス
		教授 李 洪譜	光ファイバデバイス, 非線形光学, 光情報処理
		准教授 朝間 淳一	モータ工学, パワーメカトロニクス, 磁気浮上
		准教授 サロジ ラマン トリパティ	テラヘルツ波応用技術, テラヘルツ分光, テラヘルツ波によるイメージング, 非破壊検査
		准教授 關根 惟敏	計算機援用工学, 電磁環境シミュレーション, 電気・機械協調解析, 人工知能応用
		准教授 武田 正典	超伝導デバイス, ミリ波・サブミリ波回路
		准教授 中村 篤志	酸化物薄膜並びにナノカーボン材料のグリーンデバイス応用
		准教授 林 康久	弾性波動の非破壊検査への応用
		助教 中澤 謙太	マイクロマシニング, MEMS, 光計測・加工
		助教 福元 清剛	人間工学, 超音波を用いた体組成計測システムの開発およびその応用

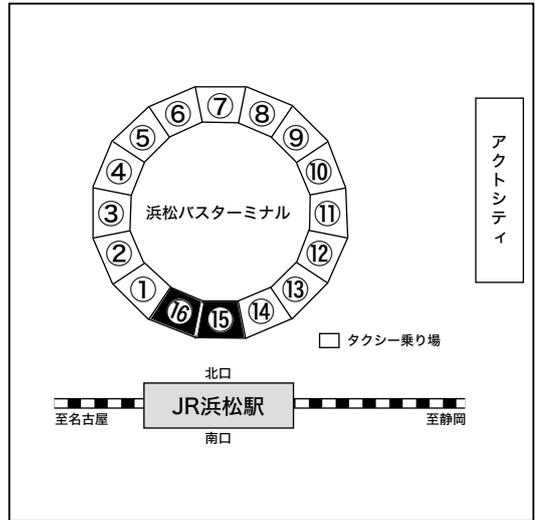
コース	分野	教員	研究内容
電気電子工学	情報エレクトロニクス	教授 江上 力	光情報処理, 3次元光メモリ, レーザ顕微鏡
		教授 大橋 剛介	画像情報処理, 視覚情報処理, 画像センシング
		教授 香川 景一郎	コンピュータショナルCMOSイメージセンサ, 生体光イメージング
		教授 丹沢 徹	集積回路工学, 特に電源・メモリ・アナログ回路の設計
		教授 庭山 雅嗣	光生体計測(筋肉や脳の酸素濃度計測, 血流計測), 医用光学
		准教授 大内 浩司	通信方式, 光無線通信技術
		准教授 大多 哲史	バイオ磁気工学, 計測工学
		准教授 立蔵 洋介	音情報処理(音場制御・再生, 音源分離, 音環境のモニタリング)
		准教授 二川 雅登	環境モニタリングセンサ, 計測技術, 半導体デバイス, アナログ・デジタル信号処理回路
		准教授 松永 真由美	電磁波工学, アンテナ伝搬, 電磁波生命科学
		講師 沖田 善光	ヒトの神経生理機能の計測, 生体信号処理, 生命計測工学
		助教 富木 政宏	光導波型デバイス, 自己形成光導波路, 熱光学スイッチ
		エネルギー・電子制御	教授 川人 祥二
	教授 関川 純哉		電気接点におけるアーク放電・接触現象, プラズマ理工学
	教授 △野口 敏彦		パワーエレクトロニクス
	教授 橋本 岳		視覚情報処理, 画像計測, 環境計測技術
	教授 道下 幸志		電力系統絶縁, 高電圧工学, 雷放電工学
	教授 和田 忠浩		無線ネットワーク, デジタル無線通信, 誤り訂正技術
	准教授 清水 一男		マイクロプラズマによる医療応用研究, 大気環境・室内環境浄化の研究
	准教授 高橋 崇宏		半導体デバイス製造プロセスの設計・解析, 人工知能開発
	准教授 芳賀 仁		パワーエレクトロニクス
准教授 松尾 廣伸	再生可能エネルギー利用小規模エネルギーシステム, 直流放電現象		
准教授 安富 啓太	イメージセンサ, 距離撮像デバイス, Mixed-signal集積回路		
コース	分野	教員	研究内容
電子物質科学	電子物理デバイス	教授 池田 浩也	ナノ材料を用いた熱電変換発電デバイスおよびセンサの開発
		教授 △石田 明広	長波長半導体レーザ, 量子効果デバイス・物性, 熱電材料・物性
		教授 井上 翼	ナノカーボン材料開発と先端デバイス応用
		教授 小野 篤史	近接場光学, プラズモニクス, ナノイメージングデバイス, 光ナノ計測, 光電変換, 金属ナノ加工
		教授 小野 行徳	超低消費電力化に向けた革新型シリコン・ナノスケールデバイスの研究
		教授 古門 聡士	局在スピン系の緩和に関する理論的研究
		教授 佐々木 哲朗	テラヘルツ光源・分光測定装置開発と医薬品検査応用, 結晶成長
		教授 立岡 浩一	シリサイド半導体の成長・評価及びデバイス応用, 熱電及び光電素子用材料の開発, ナノ構造材料の作製と応用
		教授 藤間 信久	高品質金属材料開発の理論的研究, 量子材料工学, 金属・合金の構造と物性
		教授 ミゼイクス ビガンタス	レーザーリングラフィ技術による光マイクロ/ナノデバイスの作製とその光学特性評価
		准教授 伊藤 哲	光と電子の相互作用を利用した半導体およびその量子構造における電子スピン応用と光物性の研究
		准教授 岡部 拓也	強相関電子系の磁性と超伝導に関する研究
		准教授 荻野 明久	プラズマ応用, 熱電子発電
		准教授 佐藤 弘明	ナノ構造の光アンテナを利用した半導体光検出器の高感度化・高機能化
		准教授 △高野 泰	化合物薄膜作製と薄膜太陽電池に関する研究
		准教授 田村 了	カーボンナノチューブ等ナノ構造物の電子状態の理論的研究
		准教授 中嶋 聖介	超短パルスレーザーを用いた光機能性ナノ磁性材料の創製
		准教授 中野 貴之	半導体結晶成長技術を用いた光機能デバイスの開発
		准教授 根尾 陽一郎	真空電子デバイス, 電界放射・イオン顕微鏡
		准教授 堀 匡寛	半導体中の単一量子準位を用いた革新的デバイスの創生
		助教 濱崎 拓	材料工学, 熱・電気輸送特性
	助教 文 宗鉉	ナノ物質を用いたイメージング・宇宙・耐環境用MEMSデバイスの研究	
	材料エネルギー化学	教授 久保野 敦史	電子・光機能性有機分子凝集体(液晶, 蒸着重合高分子薄膜)の高次構造制御・形成機構
		教授 越水 正典	有機・無機, および有機無機ハイブリッドから構成される放射線計測用光学材料の開発
		教授 昆野 昭則	色素増感およびペロブスカイト太陽電池の開発, マグネシウム二次電池
		教授 下村 勝	原子スケールでの表面界面分析技術の開発, 有機無機ナノ構造を利用したエネルギー素子の研究
		教授 須田 聖一	燃料電池等エネルギー関連材料の界面設計と構築
		教授 原 和彦	新規発光材料開発と, ディスプレイおよび可視・紫外光源デバイスへの応用
		教授 符 徳勝	新規機能性酸化物の開発, 材料物性
		教授 脇谷 尚樹	気相法による革新的ナノ電子セラミックスの創成(磁性体, 誘電体, 導電体, 新エネルギー関連材料)
		准教授 奥谷 昌之	光機能性薄膜の形成と応用, 透明導電膜, 色素増感太陽電池
		准教授 光野 徹也	ナノ〜マイクロ結晶の成長及びこれら結晶に発現する光の諸特性
		准教授 小南 裕子	新規紫外〜可視発光材料の開発及び光源応用に関する研究
准教授 嵯峨根 史洋		電気化学, 界面化学, 革新型蓄電池の開発	
准教授 坂元 尚紀	最先端顕微鏡技術を用いたセラミックスナノ粒子・薄膜の構造解析と物性評価		
准教授 田中 康隆	リチウムイオン電池の電解質合成と機能評価, 分子デザイン, 有機合成化学, 電気化学		
准教授 モラル ダニエル	ナノエレクトロニクス, ナノマテリアル		
助教 川口 昂彦	機能性セラミックス(超伝導体, 磁性体, 熱電変換材料)の薄膜成長と基礎物性		
助教 松原 亮介	機能性有機・高分子材料の薄膜成長および構造制御, 有機半導体デバイス		

コース	分野	教員	研究内容		
化学 バイオ 工学	環境応用化学	教授	植田 一正	複合物性を示す有機材料の構築とその物性評価	
		教授	孔 昌一	超臨界流体中物質溶解・拡散機構の解明, 炭素複合材料や多孔体材料の合成と電子デバイスへの応用	
		教授	高橋 雅樹	次世代光機能分子システムの創製	
		教授	富田 靖正	新規固体イオニクス材料の開発と評価	
		教授	鳥居 肇	量子化学計算や分子動力学計算などの理論計算手法を用いた, 凝縮相系(液体系, 生体分子系)のダイナミクス・分光学的性質・機能などの解明	
		教授	福原 長寿	新エネルギー創製, 低炭素化技術, 資源・エネルギーの有効利活用に関連した触媒化学, 無機化学, 反応工学に関する研究	
		准教授	岡島 いづみ	亜臨界・超臨界流体を用いる廃棄物リサイクル, 抽出, 材料合成等のグリーンプロセスに関する研究	
		准教授	河野 芳海	有機化合物と無機ホストとの複合体を主に用いた, 光機能性材料や環境調和材料の開発	
		准教授	仙石 哲也	精密有機合成: 医薬品となりうる生体物質構築と環境負荷低減を目指した有機合成法の開発	
		准教授	武石 薫	ジメチルエーテル(DME), 水素などグリーンエネルギーに関連した環境保全のための触媒研究	
		准教授	立元 雄治	乾燥技術および流動層をはじめとした粉体のハンドリング	
		准教授	△前澤 昭礼	光酸化, 超音波, オゾンによる難分解性有機物含有廃水処理	
		准教授	宮林 恵子	緻密に構造制御した金属微粒子の調製とその応用	
		准教授	渡部 綾	未開拓な機能性を新たに利用した環境調和型触媒の創製に関する研究	
		講師	茂木 堯彦	新たな合成戦略に基づく機能性ナノ空間材料の創製と固体触媒による低分子の高付加価値化	
		助教	北村 勇吉	理論化学手法と情報科学手法を融合した凝縮相系の過渡的構造ダイナミクス・分光学的性質・機能発現などの解明	
		助教	藤本 圭佑	光機能性および酸化還元特性に優れた有機分子群の開発	
		バイオ 応用工学	教授	△木村 元彦	生体医用工学技術の開発
			教授	△金原 和秀	有用環境微生物の獲得とその機能の解明, バイオプロセスへの利用に関する研究
			教授	杉田 篤史	高分子の光学的性質, 非線形光学効果の応用技術
	教授		平川 和貴	DNAおよび生体機能物質の光化学, がん光治療の基礎研究	
	教授		二又 裕之	微生物を活用したエネルギー生産, 環境浄化および微生物複雑系の調和機構の理解と応用	
	教授		間瀬 暢之	有機化学を基盤としたグリーンものづくり: 多くの命を救える化学技術を目指して	
	准教授		織田 ゆかり	界面工学に基づく機能性高分子材料の設計と開発	
	准教授		川井 秀記	有機化合物・高分子を用いた光機能材料の開発	
	准教授		新谷 政己	複合微生物系の人為制御を目指した可動性遺伝因子の動態研究	
	准教授		武田 和宏	バイオプロセスの設計, 運転, 管理のためのシステム工学的研究	
	准教授		△戸田 三津夫	分子認識化学, 高圧有機合成, 佐鳴湖環境改善に役立つ化学	
	准教授	鳴海 哲夫	有機化学を基盤とする創薬研究: エイズやアルツハイマー病など難治性疾患の病因解明を指向した有機分子の開発と応用		
	准教授	野口 良史	高精度量子化学計算手法の開発と応用計算		
	准教授	松田 靖弘	高分子溶液学, 生体親和性高分子		
准教授	宮崎 さおり	植物をモデルとした酸化ストレスと生殖, 細胞の寿命と細胞分裂, 生殖の進化の研究			
准教授	吉田 信行	工業的に利用可能な新規反応を触媒する微生物の探索, およびそれに関連した酵素工学			
准教授	フェリ ステファノ	Creating synthetic biology tools for bioprocess applications, with emphasis on photosynthetic microorganisms.			
講師	田代 陽介	複合微生物系における微生物間コミュニケーション機構に関する研究			
助教	佐藤 浩平	ペプチド化学・タンパク質化学を基盤とするケミカルバイオロジー研究			
数理 システム 工学	分野	教員	研究内容		
		教授	赤堀 公史	非線形分散型方程式の解の挙動の研究	
		教授	足達 慎二	変分的手法による非線形楕円型方程式の研究	
		教授	安藤 和敏	離散最適化, 離散数学	
		教授	石原 進	コンピュータネットワーク, モバイルコンピューティング	
		教授	△菊地 光嗣	偏微分方程式の解の構成とその性質	
		教授	星賀 彰	非線形波動方程式の解の挙動についての研究	
		教授	宮崎 倫子	常微分方程式・差分方程式の定性論とその応用	
		教授	宮原 高志	ライフサイクルアセスメントを用いた環境影響評価	
		教授	守田 智	複雑なシステムの構造とダイナミクスの解析, 非線形物理学	
		准教授	一ノ瀬 元喜	進化ゲームによる社会性進化の研究, 進化計算への応用	
		准教授	岡部 誠	コンピュータグラフィックス, ユーザインタフェース	
		准教授	甲斐 充彦	音声情報処理, 音声言語システムとインタフェース応用	
		准教授	高 國傑	粉粒体物理, 分子動力学法	
		准教授	佐藤 一憲	確率論的動的システム及び非線形モデルの解析, 数理生態学	
		准教授	関根 義浩	作用素環論・作用素論	
		准教授	中島 徹	幾何学的変分問題の解の特異性の研究	
		准教授	藤嶋 陽平	非線形偏微分方程式	
		准教授	水谷 友彦	数理最適化, データマイニング, オペレーションズ・リサーチ	
		准教授	村田 美帆	非線形偏微分方程式の解の挙動に関する研究	
		准教授	横嶋 哲	環境流体力学, 計算力学	
		助教	呉 偉	組合せ最適化, オペレーションズ・リサーチ, スケジューリング	
		助教	ファム ヴァン タイ ン	光無線通信, 通信理論, 通信工学	

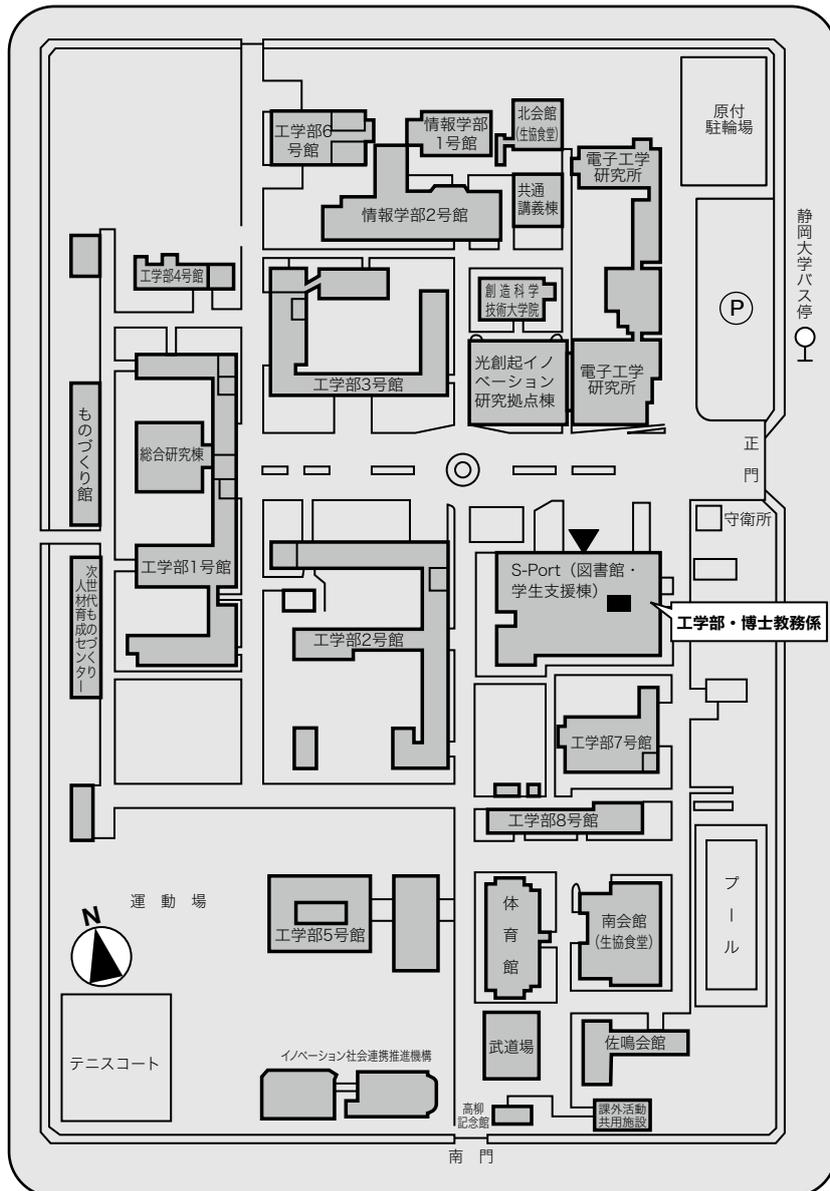


〔浜松キャンパスへの交通案内〕

JR浜松駅前から遠州鉄道バス15番又は16番のりばから乗車し静岡大学下車（所要時間約20分）。



浜松キャンパス建物配置図



静岡大学

大学院総合科学技術研究科（修士課程）工学専攻

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松キャンパス事務部浜松教務課工学部・博士教務係
TEL 053-478-1010 FAX 053-471-0249